

Photo ふなばし

特
集

文化・スポーツで船橋っ子大活躍

PART1

三田中 全国学校合奏
コンクール 2年連続日本一

PART2

市立船橋高校 全国高校
駅伝大会 で快走!

女子優勝・男子5年連続入賞



市船女子陸上部の皆さん



三田中管弦楽部の皆さん

- 市政トピックス ● 街角ホットニュース
- 私のカメラアイ
- WE ARE IN FUNABASHI
- サークル通信

まちなかの文化財 / カメラ講座
ふなばしの民話



御明合祭

vol. 35

広報ふなばし写真版



各パートごとに上級生が後輩を指導する。このチームワークが三田中管弦楽部の2年連続入賞の大きな力となった



全校生徒、父兄など多数の関係者が見守る中、安藤純先生の指揮により、美しいハーモニーでワーグナーを演奏する管弦楽部員たち

とくしゅう
PART 1

三田中 全国学校合奏 コンクール

2年連続日本一！

全国学校合奏コンクール中学校の部で、昨年度に続き2年連続最優秀校に輝いた三田中学校管弦楽部。その表彰式が、1月16日に同校体育館で行われました。表彰式のあとの記念演奏会では、受賞曲「ニュールンベルクのマイスタージンガー」（ワーグナー作曲）などが演奏され、会場を埋めた全校生徒や父兄などの皆さんから大きな拍手が贈られました。

京都・都大路を舞台に昨年12月24日、男子第40回、女子第1回全国高校駅伝競走大会が行われ、女子は、市立船橋高校が1時間9分48秒の高校最高記録で優勝、輝かしい高校女子駅伝の幕開けに、みごと市船の名を刻みました。

また、男子も9位入賞を果たし、5年連続入賞という偉業を成し遂げ、市立船橋アベック入賞というすばらしい感動を私たちにもたらしてくれました。

4区を走り終えた杉村奈美選手(1年)



ウォームアップする3区
浜崎美知子選手(1年)

とくしゅう
PART2

市立船橋高校 全国高校で快走! 女子優勝・男子5年連続入賞

全国高校で快走!
駅伝大会



緊張のなかキャプテン稲林正文選手(3年)のタスキを待つ3区の渡辺康幸選手(1年)



最後に出席者全員で「ふるさと」が合唱された



内閣総理大臣賞を受ける管弦楽部の皆さん



受賞の喜びをかみ締めるように
タクトを振る安藤純先生



表彰式には生徒全員が出席、クラスメートの
演奏に大きな拍手が贈られた



練習は月曜から土曜まで毎日朝夕行われている



先生に注意されたところを
何度も繰り返すパート練習



合同練習では教室に入り
きかず廊下にはみ出でし
まうパートもある

放課後の音楽室。生徒たちがそれぞれの楽器を手に次々と集まってくる。室のあちこちでチューニングが始まり、やにわに騒がしくなってきた。三田中学校管弦楽部。部員130人の大所帯である。全体練習では、音楽室に入り切れないパートも出てくる。練習は、ワグナーのニールンベルクのマイスタージンガーで始まった。全国学校合奏コンクールで演奏した曲である。指導するのは安藤純先生。各パートに厳しい注意が矢継ぎ早に繰り返される。シャッターを切るのはばかりのような緊張感が漂う。一通り練習が終わると休息を挟んでパート練習に移る。「うちは、先輩が先輩をよく指導してくれずから」と安藤先生。その言葉通り、音楽室や廊下に分かれたパート練習では、上級生が中心となって練習が行われている。

練習は月曜から土曜日まで、当然、朝練もある。日曜日にもやることもある。特に、冬は、放課後の練習時間が短くなるので時間は無駄にはできない。

管弦楽部が頭角を現わしたのは、昭和60年度の全国学校合奏コンクール。初めて全国大会に駒を進めた三田中は、優秀校に選ばれた。翌年も優秀校となった三田中は、昭和63年度の同大会でついに最優秀校となり日本一に輝いた。この年は、こども音楽コンクールでも最優秀賞となり、あこがれのサントリーホールでの演奏も行っている。そして、平成元年度、二年連続最優秀校となったのである。

1月16日に行われた表彰式では、喜びと感謝の気持ちを込めた重厚な演奏で、体育館を埋めた生徒、先生、父兄の皆さんをうならせた。



駅前通りをパレードする市船陸上部の皆さん。歩道は歓迎の市民で埋め尽くされ、ビルの窓からは紙吹雪が舞った



5区川嶋晶子選手は、2.8キロ地点で埼玉栄・鈴木選手をかわしトップへ。そのまま逃げきり、1時間9分48秒の記録でゴールへ飛び込んだ。5区5kmを16分08秒で走り、区間2位となった



大橋和夫市長のお祝いの言葉に笑顔で応える大津さつきキャプテン



12月25日、JR船橋駅で選手の到着を待ちわびる市民の皆さん



報告会は市役所1階で行われた



3区3kmを9分59秒で駆け抜けた区間賞を獲得した浜崎美知子選手(1年)



女子優勝の喜びを語る清水進監督

師走の都大路には、朝から冷たい雨が降っていた。その雨を蹴散らしながら、京都市西京極陸上競技場にトップで姿を現わしたのは、市立船橋高校のアンカー川嶋晶子選手(2年)だった。歓声と拍手でどよめく観客席の前を、腕を横に振る、しかし力強いピッチでトラックを1周。勝利の喜びを小さな体で精一杯受け止めるように、両腕を高々と掲げながらゴールに飛び込む。1時間9分48秒、高校最高記録だ。市船女子チームは、みごと高校駅伝初代女王の座を手にした。また、午後から行われた男子高校駅伝では、市船は参加58校中、堂々9位入賞。37回大会の優勝を含み、36回大会から5年連続入賞を成し遂げた。

市船陸上部は、現在部員85人。そのうち長距離の男子は35人、女子は15人である。練習では、男女がいっしょに走る。36回大会から連続入賞という実績をもつ男子チーム。そのチームとともに練習を続けてきたことが女子チームの大きな励みとなり、今回の優勝に結び付いたのではないだろうか。ある日、その練習を訪ねてみた。放課後の午後3時半、みんなが部室に集まってくる。これから厳しい練習が始まるのだから、みんなつらそうな顔をしているのだから、と、思っただけのドアを開けてみたら、中はワイワイガヤガヤ。元気な陸上部員たちの顔があった。校門近くで軽く体操、帰宅する友達と冗談を飛ばしながら別れる。

さあ、練習の始まりだ。まず、運動公園陸上競技場まで軽くジョギング、右へ左へ市街地をひた走る。ロードに強いといわれる市船の実践的トレーニングだ。陸上競技算になる。

距離だけではない。練習の密度が濃い。この日も、真冬の夕方だというのに、汗でみんなの着ているシャツが体にはりつき、額からは汗が落ちてくる。「何だ、今のタイムは!」清水監督の厳しい声が、冷たい陸上競技場に響く。人より練習する。勝つためには、これしかないのだ。

午後6時、あたりがすっかり夕闇に包まれたころ、やっと練習が終わった。まだ息の整わない部員たちが監督のもとに集まる。礼をしたあと、拍手をして今日のお互いの努力をたたえ合う。それまで厳しかったみんなの表情が、明るい高校生の顔に戻った。練習中、意外だったことは、監督やコーチが、腕の振りなど技術的な注意をあまり選手にしないことだ。選手一人ひとりに、自分たちはトップレベルを走っているんだという自覚と、駅伝で勝ちたいというはっきりとした目標があり、それが緊張感ある練習のものになっているのではないだろうか。

12月25日午後、市立船橋高校男女駅伝チームは、JR船橋駅から市役所まで笑顔でパレード。沿道に詰めかけた大勢の人々からは、両チームの選手に惜しみない拍手と声援が贈られた。

おめでとう、市船陸上部!

場では、体をほぐしたあと、周囲のタイムを計りながら15キロ走る。ただ、ひたすら走り続ける。この前に、朝の練習と陸上競技場までのジョギングを合わせて10キロほど走っているから、合計で一日におよそ25キロ。船橋・稲毛間を毎日往復している計算になる。

距離だけではない。練習の密度が濃い。この日も、真冬の夕方だというのに、汗でみんなの着ているシャツが体にはりつき、額からは汗が落ちてくる。「何だ、今のタイムは!」清水監督の厳しい声が、冷たい陸上競技場に響く。人より練習する。勝つためには、これしかないのだ。

午後6時、あたりがすっかり夕闇に包まれたころ、やっと練習が終わった。まだ息の整わない部員たちが監督のもとに集まる。礼をしたあと、拍手をして今日のお互いの努力をたたえ合う。それまで厳しかったみんなの表情が、明るい高校生の顔に戻った。練習中、意外だったことは、監督やコーチが、腕の振りなど技術的な注意をあまり選手にしないことだ。選手一人ひとりに、自分たちはトップレベルを走っているんだという自覚と、駅伝で勝ちたいというはっきりとした目標があり、それが緊張感ある練習のものになっているのではないだろうか。

12月25日午後、市立船橋高校男女駅伝チームは、JR船橋駅から市役所まで笑顔でパレード。沿道に詰めかけた大勢の人々からは、両チームの選手に惜しみない拍手と声援が贈られた。

おめでとう、市船陸上部!



5区高橋孝典大介選手にタスキが渡る選手から上原



女子優勝を喜ぶ市船の生徒たち



雨の日でも練習に休みはない。試合はあるからだ。小雨模様のこの日は、海老川ジョギングロードで練習が行われ、10周約21キロを走った



2区を走り終えた稲林正文選手(3年)。キャプテンとしてこの一年チームを盛り上げた



授業の合間には、友達とヘアスタイルやファッションなどの話をします



笑い声が絶えない女子部室



底冷えのする運動公園で黙々と走り込む部員の皆さん



報告会で、市民の皆さんの声援にお礼の言葉を述べる男子長距離担当の渡辺敏彦監督



試合を終え、宿舍の御殿荘でジュースで乾杯



父兄の皆さんも船橋から応援に駆けつけてくれた



3年連続全国大会に出場し、2回の区間賞に輝くなど駅伝ファンに夢を与えてくれた柳倫明選手(3年)。お疲れさまでした



飛の台貝塚遺跡に建つ海神中学校

古い——といっても昭和初期の話だが、当時の「新道」を登りつめた所に、「京成電車の海神停留場及び総武鉄道の海神停車場」(昭6/葛飾町案内)があったそうだ。同案内記によると、「柏、野田、大宮方面の近道は総武鉄道に依るべく、千葉、成田方面は京成電車を利用した。するとこの「総武鉄道」というのは今の「東武鉄道」に当る。(へえ、東武にむかし「海神駅」があったんか——)とんだ大発見でもしたような痛快な気分!」それにしても、この狭く一本きりの駅前(?)通りである。おまけに車がやたら多い。大型車もどんどん入ってくる。商店の軒先を借りて車避け、商店街をくぐり抜けるように歩いて、荷風田跡の辺り、そして海神山を越えれば、眼下の新興住宅地の向う高台に海神中学校が遠望される。

同校の地こそ有名な「飛の台貝塚遺跡」である。ずっと戦前の昭和七年、明治大学の杉原荘介教授が初めて学界に紹介し世間にも知られ十三年に至り、東京考古学会、下総飛の台貝塚調査分科会が結成されて本格的な発掘調査が行われ、報告書が公にされて評価が定まった。その核心は、煙道付きの特殊な炉穴の発見という点にあった。(文責・大木勲)

まちなかの文化財

飛の台貝塚遺跡 (海神中学校敷地一帯)



校舎裏にひっそりとたたずむ石碑



筋力トレーニングは雨で練習が出来ないときに主に短距離の選手が行う

20kgのバーベルを持って体をねじる。上半身の強化も欠かせない



今日の練習メニューを指示する女子長距離担当の鈴木秀夫コーチ



1月15日(祝)、市民文化ホールで成人式が行われました。今年成人となる人は、昭和44年4月2日から45年4月1日までに生まれた1万360人。式は3回に分け行われましたが、大橋和夫市長から「これからは皆さんの時代、フレッシュな感覚で21世紀の船橋を作ってください。」と挨拶があり、参加された皆さんも心を新たにしていました。

2部の歌&トークで「海に見えるまちで…」を歌うゲストの伊藤薫さん



2部のアトラクションで美声を披露するオペラ歌手の本宮寛子さん

新成人で埋めつくされた市民文化ホール

1月15日
成人の日

1万360人が成人に

暮らしに役立つ情報がいっぱい
第24回 船橋市生活展開催

第24回船橋市生活展が1月19日から24日まで西武百貨店船橋店で開催されました。会場には、市内の消費者団体がこの一年間研究してきた成果がズラリと並び、訪れた皆さんも真剣に各展示を見ていました。また、開催期間中、桜もちの作り方、牛乳パックを利用した手すき和紙などのアトラクションやクイズも行われ大変好評でした。



カルシウムの大切さを実感「不足しています！カルシウムコーナー」



各コーナーを見て回る実行委員の皆さん



純粋バルブで出来ている牛乳パックの様々な再利用法を考えるコーナー



二和向台駅から歩いて1分、公民館と連絡所を併せ持つ(仮称)北図書館

(仮称)
市民待望の北図書館
来年6月のオープンに向け着工!

1月20日(土)、(仮称)北図書館の起工式が行われました。北図書館は、市内4館目の図書館として建設されるもので、敷地面積は、約4,057平方メートル。建物は、鉄筋コンクリート造りで地下1階・地上4階建てで二和公民館と市民連絡所を含めた複合施設となります。完成後は、蔵書可能数約60万冊と市内では最も大規模な図書館となります。場所も新京成二和向台駅から歩いて1分と交通の便もよく、来年6月の開館が今から楽しみです。



工事の安全を祈願する関係者の皆さん

火災^{ゼロ}の願いを新たに
消防出初式行われる

若鷲会による華麗なはしご乗り



消防功労者を表彰する大橋和夫市長

1月11日、新春恒例の消防出初め式が船橋オートレース駐車場に約1100人が参加して行われました。当日は、消防防災活動に貢献された227人と9団体が表彰されたあと、大橋和夫船橋市長、長谷川伸一消防局長による観閲、若鷲会によるはしご乗り、保育園児によるポンプ操法などが行われ、会場の市民の皆さんから盛んな拍手が贈られました。

元旦マラソン



千人以上の人々が健脚を競った元旦マラソン

新春に走る!



成人の日記念駅伝競走大会

新春恒例の「元旦マラソン大会」と「成人の日記念駅伝競走大会」が、1月1日と15日に運動公園などで行われました。元旦マラソンには、中学生から81歳まで1,195人が参加、走り初めを楽しみました。また、駅伝には中学校・高校・一般併せて71チームが、7区(23.4km)のコースに挑戦、中学校は三田中、高校は市立船橋、一般は高橋建設がそれぞれ優勝しました。

船橋海浜公園

浜風に乗ってオリジナル^{スコ}が^{スコ}大乱舞

1月14日(日)、海浜公園で手づくり凧揚げ大会が行われました。大会に先立ち、「手づくり凧コンテスト」の授賞式が行われ、理事長賞には池上昭さんの作品が輝きました。凧揚げ大会では、快晴の下子供からお年寄りまでたくさんの方が時がたつのも忘れて凧糸を片手に大奮闘。甘酒・おしる粉コーナーも大好評でした。



凧揚げ大会では、よく走ったで賞などユニークな賞がたくさん設けられました



コンテストではユニークな凧が勢揃い



家族みんなが健康で、たまにはゆっくり旅行したいですね。
鴨居好雄さん 三山7

家族健康で、自分達の記録を作って行きたいですね。
藤原律子さん 海神3



家族みんな無事で、世の中手を取り合って仲良くできればいいですね。
芥川みよさん 小室町

今年も健康な一年を過ごせたらいいですね。
大山晴義さん 大穴北3



テニスをより上達させたいですね。
松浦光代さん(左)金杉5
中田洋子さん(右)夏見2

テーマ
あなたとご家族の今年をどんな年にしたいですか?

キャンパスに絵が浮き上がって
くるのが楽しいです

正木洋子さん (緑台1)



ART
「絵を始めたのは9年前、主人が誕生日に絵の道具をプレゼントしてくれました。それがきっかけでした。」とおっしゃる正木さん。ちょうど下のお子さんが小学校に入学したときでした。もともと絵が好きだったこともあり、近くの高根公民館の絵画クラブに入りました。絵は、何もないキャンパスにすべて自分の手で作品を完成させること。そして、平面なものを立体的に表現できるということが他にはない魅力だといいます。良い先生に恵まれたことも続けている理由とか。ご主人と同じ趣味を写真にも取り組んでいます。「10年後には一緒に撮影に行っても足手まといにならないようにと思って、話す前は、家事と趣味を両立させてきたという自信でイキイキと輝いていました。」

アイ・ラブ・フナバシ

船橋はきれいな
まちですね

三浦洋子さん
(西船7)



「4年前船橋にきたときは、日本語が分からなかったし、ちょうど下の子供を妊娠していたのでとても不安でした。」三浦さんは、中米ホンジュラスの出身。初めて経験する日本の冬の寒さもたええたそう、すごく厚着をしていましたとニコリ。日本語は、一年間教室に通って日常会話にはさほど不自由しませんが、テレビドラマを見てみると、理解できないことがあるとか。趣味は「奥が深くてもおもしろい」という生け花。現在、先生について習っています。船橋の印象はきれいなまち。でも、最初は周りに畑が多いので、意外に自然が残っているなあと感心したそうです。公民館が近くにあればいいんですがという三浦さん。「ご主人とお子さんに向けるまなざしがとても優しいお母さんです。」

まい
ふあしよん

シンプルが
一番です

大穂和子さん
(金杉7)



「洋服を選ぶときは、流行の色や形、ブランドより他の服に合わせやすいものを選びます。おっしゃる大穂さん。色も黒とか茶といった抑えたものを好んで着るそうです。この日もコートからスーツ、バッグ、靴まですべて黒でコーディネート。「オフの日はジーンズにコットンシャツ。アクセサリーもほとんどしません。とにかくシンプルを一番心掛けています。」(笑)趣味はテニスとスキー。そして読書が大好きという大穂さん。落ちついた雰囲気の中にも周りの人をパツと明るくしてしまう笑顔がステキな人でした。」

ご主人

大概の靴なら修理できます

小沢茂雄さん(海神5)



大神宮下の交差点のすぐ近くに靴修理とガラス戸にかいてある一坪ほどの靴屋がある。これが小沢さんのお店。「昭和20年からだからもう45年になるね。」と元気のいい声が返ってきた。軍隊の加工兵として一通りの技術をマスターした小沢さん。使っている金数もその当時からのものだという。固定客が多く、おじいさんから三代という人も少なくない。時間さえあれば大概の靴は直せるというが、履きつぶした靴は無理だそう。お客さんが来ると悪いからと日曜日も店を開く。時間も午前11時から夜9時までと勤め人にはうれしい配慮である。

あとがき



1月28日に行われた防災リーダー研修会。命に関わることに皆さん真剣です

■1月14日、ワンバク王国のフィードアスレチックが日本一となり、取材に出かけた。子供たちはカド片手に思いっきりチャレンジ。一方傍らで心配そうに見守る父親の姿が印象的だった。自然破壊が叫ばれる中、こんな貴重な自然が身近にあることは、とても貴重なことだと思われた。(彦)

■私の仕事初めは、元日マラソンでした。当日は好天に恵まれたとは言えやわらかなランニングシューズを履き、身震いしそうです。しかし、選手達の寒さをもっとも思わないその気迫に私も頑張らなければと思った次第です。(彦)

■今号の取材で楽しかったのは、手づかみで作った粘土細工は、それはおもちゃ屋に売っていいものを作ったという姿勢と努力に、仕事をやっていたような気がした。(一)

■毎日クラブで昭和21年に創刊された「サン写真新聞」の特集号が出されている。メディアといえは新聞と雑誌は新しいスタイルの新聞は、当時大変な人気であったという。何より素晴らしいのは、その写真。終戦直後の激動の時代という背景もあるが、人々がイキイキと味わっている。ペタラチックに撮られる確かさと腕の冴えが凄い。(雄)

みんなの広場

サイ
クル
通信

海老が作太極拳クラブ
海老が作公民館



皆さん、はつらつとした笑顔がステキです

太極拳は、もともと武道だったものを健康増進を図る運動に変えたもの。あの独特な緩やかな動きは、一見運動にはならないと思われがちですが、結構筋力を使うようで、会員の皆さんに聞くと「足腰が強くなりました。」という声がたくさん返ってきました。とにかく楽しく健康増進が目標のこの会、発足して5年を数え、会員の中には、自分の地域で指導されている人もいるという積極的な活動ぶりが見事な会でした。(連絡先: 東出トシ子 ☎57-3421)



体も気分もリフレッシュ

今日の花材はアカメヤナギと
グラジオラス



お花を見ていると気分がさわやかになります

西部公民館
西部生花クラブ

「今日は、どんな花を生けるんだろうと思いがた来るのがとても楽しみなんです。」皆さんこうおっしゃるこのサークルは、昭和40年に寿大学のクラブとして発足。会長いわく「61年にサークルになってからは、若い人も入ってとても活気があるんです。」現在会員数は16人、練習日は毎月第2第4火曜日。皆さん「技術を磨くことも大切ですが、顔を合せて和気あいあいとやるのがとても楽しみなんです」とおっしゃいます。(連絡先: 板橋くに ☎0473-34-6226)

クラシックだけでなくポピュラーにも挑戦しています



ていねいな指導が好評です

船橋バイオリン
アンサンブル
中央公民館

公民館の講習会がきっかけで、56年に発足し、もうすぐ10年目になるこの会、練習は毎月第1、3日曜日。アンサンブルの良さは、音が合い、そしてハーモニーが合った時、弾いていないのに自分のバイオリンの弦が鳴り出しそれが指で感じられる、そんな仲間との一体感がうれしいそうです。そんな喜びを味わいたい人はぜひ。(連絡先: 林 弘道 ☎31-3639)

カメラ講座 ⑤
(最終回)

コンパクト
カメラの盲点



プリント時にトリミングされた例。ネガには一番右の人の顔が全部写っています

コンパクトカメラで大勢の人の記念写真を撮り、でき上がった写真を見たら、一番はじの人の顔が半分無くなってしまった、すみません。写したはずのものが写っていない。そんな経験はありませんか。実は、コンパクトカメラには、ほんのわずかな盲点があるのです。まず、コンパクトカメラでは、フィルムに写った映像と実際にフィルムに写る映像と「視差」があります。この視差は、被写体に近寄るほど大きくなります。近寄るものを撮影する場合には、ファインダーの中の近接撮影用のワウから被写体はみ出さないうように十分注意しましょう。

もう一つは、印刷時にプリントするときに現像所で切られてしまうことがあります。普通、サービスサイズでプリントすると、印刷紙のサイズの都合から、トリミングと上下左右をわずかに切ってプリントします。ですから、大事な被写体は、中央寄りに写すように注意しましょう。

また、万が一写真に写っていない場合でも、ネガをもう一度確認してみよう。けっこ、ちゃんと写っていることがあります。フィルムに写っている場合には、写真屋さんで相談すれば、トリミング無しでプリントすることができます。

ペットインタビュー



私たちは、盲導犬種として有名な「ルテンレトリバー」の向って左側が私、生後7か月の雌のメーテル。隣は父親のグレートです。私たちはとても早起き、4時にはもう目がパッチリ。だっつ朝食の時間なんです。ドッグフードに特製の肉、それからご主人の残り物をミックスしてあげてとってもおいしいんです。夜は7時にはグッスリ。番犬にならないとご主人は嘆息しています。でも親子とも丈夫で病気一つしたことがありません。えらいでしょ!

オーナー
柏原渥子さん(八木谷)

ワンパク王国に日本一のフィールドアスレチック完成!



揺れる輪から輪へ移る「梨移り」という名のポイント

1月14日(日)、ワンパク王国のフィールドアスレチックに「ダイナミックアスレチックコース」40ポイントが完成。今までの71ポイントと合わせて合計111ポイントとなり、日本一のアスレチック施設となりました。当日は、大橋和夫市長のテープカットに続いて、ダイナミックアスレチック大会が行われ、ちびっ子から家族連れのお父さんやお母さんが新しいコースにチャレンジ。豊かな自然の中に元気な声がこだましていました。



大勢の皆さんが見守るなか行われたテープカット



111ポイントすべてをクリアすると「日本一アスレチック大将」の認定証を差し上げます



スポーツで健康ふなばし こんにちは…

1月22日(月)、オーストラリア・クイーンズランド州代表団一行15人が、大橋和夫市長を表敬訪問しました。一行は、21日～24日まで市内の家庭などにホームステイしながら、市立船橋高校を訪問したり市内の工場を見学しました。

